

タマネギ「湘南レッド」



育成経過

旧神奈川県園芸試験場で‘Stockton Eaely Red’（ストックトン アーリー レッド）をもとに選抜育種を行い、昭和 36 年に赤タマネギ品種‘湘南レッド’を発表しました。現在、県のかながわブランドに登録されています。

品種特性

1 球重は 220～320g 程度で球形はやや扁平で首はやや太い。鮮やかな赤紫色の生食用タマネギで、輪切りにすると年輪状に赤紫色が配色されます。歯切れがよく、辛味及び刺激臭が少なく、甘みと水分に富む生食用赤タマネギです。一般の黄タマネギに比べ、貯蔵性は低く、中晩生で比較的抽だいしにくく、株は立性で葉が太いです。

栽培

播種は9月中下旬で、11 月頃に定植して、6月上旬から6月中旬に収穫を行う秋まき栽培に適します。吸肥力が強く、苗の生育が良すぎると抽だいが発生しやすく、また首が太くなりやすいため、苗床、本圃とも施肥量は普通秋まき栽培のタマネギに比べ 70～80%に控えます。また、完熟牛糞堆肥などで土作りを行うことも大切です。定植時の苗の大きさは 5～7mm 程度でやや細めの苗とします。追肥を行う場合は 2 月中下旬頃とします。

病害虫防除は一般のタマネギと同様で、特に秋と春のべと病防除を徹底します。